

Supporting Member's Speciality

日本工営株式会社 広島支店

1. はじめに

日本工営株式会社広島支店は、昭和45年6月に福岡支店の出張所として開設、昭和57年4月に営業所、平成2年4月に支店へと昇格し現在に至っています。これまで約50年、中国地方において建設事業の総合コンサルティングのサービスを展開しています。

広島支店では、総合コンサルタントの技術を活かして、崩壊・落石・地すべり・土石流等の斜面災害・災害防除の調査・解析・設計や、道路防災点検などの維持管理といった斜面災害を未然に防止する業務を多く実施しています。

ここでは、広島支店におけるこれらの斜面災害についての提供技術を紹介いたします。

2. 斜面災害への対応

2.1 迅速な現地調査

災害発生時には、発注者からのご依頼のもと速やかに現地調査を行い、災害の状況を確認しています。現地調査により、被災箇所復旧のために必要な調査、解析、設計等の項目をご提案しています。



写真-1 災害発生時の現地調査状況

2.2 調査・解析・設計

災害復旧のための調査・解析・設計まで、一貫通して対応することができます。そのため、調査結果と設計思想までの考え方を統一して整理することができます。

2.3 監視手法の提案・計器設置

災害の調査や対策は、滑動中の地すべり地内や渓流内に不安定土砂が堆積しており再度土石流等が発生する可能性のある渓流で作業を実施する必要があるため、危険を伴います。また、一般の方が、地すべり地内や土石流渓流周辺の施設を利用することもあります。住民や作業員の安全を確保するため、斜面を監視するシステムを提案し、その監視計器を設置することができます。

以上について、経験豊富な防災・地質に関する専門技術者が常駐しており、ご依頼がありましたら早急に現地に向かう体制を整えています。



写真-2 監視機器（土石流センサー）設置状況

3. 道路防災点検

道路防災点検は、その点検結果を、防災対策事業や日常の道路管理を通じて活用することにより、災害の発生を出来る限り防止するとともに、仮に発生した場合の被災を最小限に抑えることを最終的な目的として、実施するものです¹⁾。

道路防災点検では、通常、決まった着目点を中心に点検を行います。広島支店では、10年以上の道路防災点検の実績を基に、通常の点検に付加した以下の道路維持管理に活用できるサービスを提供しています。

- ①崩壊や変状が発生した箇所の緊急点検
- ②路線内の要対策箇所の優先順位付け
- ③豪雨や地震などの異常気象時の優先点検箇所の抽出

4. おわりに

近年、豪雨や地震による斜面災害が多発しています。斜面災害は、完全に防ぐことは出来ず、発生前の準備や発生後の迅速な対応が、被害を軽減させるため必要不可欠と考えます。広島支店では、中国地方の災害を軽減させることに尽力し、社会に貢献していきたいと思っております。



写真-3 護国神社での安全祈願祭にて

文献

- 1) (財)道路保全センター (1996)：防災カルテ作成・運営要領、まえがき。

お問い合わせ先：
日本工営株式会社 広島支店
〒730-0013 広島県広島市中区八丁堀5番7号
TEL：082-205-5015/FAX：082-511-3272